

CHARTERED
MAY 4, 1980



福岡中央 FUKUOKA CHUO



福岡中央ワイズメンズクラブ ブリテン 2016年5月1日発行 URL <http://www.fukuchu-ys.com/>

会長 主題 なごやかに総意を求めて
In pursuit of consensus.

어서 오세요 동래 클럽 여러분



2016.5



会長 草場 修二

今月の聖句

人間にはただ一度死ぬことと、その後(のち)に裁きを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うためにただ一度身を献(ささ)げられた後(のち)、二度目には、罪を負うためではなく、御自分を待望している人たちに、救いをもたらすために現れてくださるのです。

(ヘブライ人への手紙 第9章 27-28節)

解説:先日、「その日のまえに」というテレビドラマを見ました。末期がんと診断された妻が、僅かに残された人生を夫に暖かく見守られながら全うするお話でした。妻であり母である一人の女性の死を家族が悲しみから抜け出せない時、「忘れてもいいよ」と一言あった一通の手紙(遺言)に接して、とても私には真似出来ない妻の死に様に、ただおろおろする気持ちで観ていました。しかし、その時、私たちは、生きている人も死んだ人もキリストによって生かされ、永遠の命を与えられていることを強く感じました。

壹岐 裕志

福岡中央クラブ4月の例会が終了し、帰宅途中の14日21時26分ごろ震度7の熊本大地震が発生しました。翌々日にも2回目の震度7の揺れがあり、その後余震がずっと続き3週間たった現在も震度3程度の地震が毎日のように発生しております。熊本地区には200名を超すワイズメンの方がおられます。同ド九州部の一員として皆様が被られた被害とご心労に心からお見舞いを申し上げます。

西日本区から緊急支援金として300万円が拠出され、福岡中央クラブも会員の皆様の同意を得て10万円を4月25日に支出了しました。九州部ワイズパルと数年前の九州部評議会の研修で登録したフェイスブックのおかげで多くの情報を得ることができます。会員の方の被害状況、YMCAの被害状況、YMCAと会員の方の施設が避難所として活用されていることなどです。また、必要物資の支援依頼が発信され、それに応答する形で、そして実際に現場で支援活動に携わっているいらっしゃる多くのワイズメンの方の姿に称賛と感動を覚えます。私たちもそれぞれの立場で長期にわたるであろう今後の支援活動に備えたいと思います。5月の例会で先の支出とは別に募金を行いますのでよろしくお願ひいたします。

5月はまた、私たちの大切な海外の友人である韓国のトンネクラブとの合同IBC例会で9人のメンバーをお迎えします。1982年以来34年間ほぼ毎年続いているこの友好の灯を今回もしっかりと輝かして明るく元気なクラブになります。トンネクラブとの交流体験は実に感動的で素晴らしいものです。これをいつも同じ人間だけが享受しているということは「もったいない」ような気がいたします。新会員をどんどん増やし、この交流の輪の中に入ってもらいましょう。

5月の予定 PLAN OF MAY

第1例会: 5月21日(土)
19:00~21:00
会 場: 休暇村 志賀島
☎ 092-603-6631
内 容: IBC 韓国トンネクラブとの合同例会

第2例会: 5月12日(木)
18:30~20:30
会 場: 福岡YMCA
☎ 092-781-7410

4月のデータ DATA OF APRIL

- 4月在籍者: 16人 第1例会 第2例会
メンバー 13名 6名
ネット 4名 2名
ゲスト 7名 0名
- 4月出席率: 81.25%
4月14日(木) 第1例会
4月28日(木) 第2例会

現在までのファンドの状況

FUND	ファンド
4月 第1例会	12,000円
第2例会	0円
累計	58,000円

福岡中央ワイズメンズクラブの
ブリテンは再生紙を使っています!
SAVE THE EARTH!

国際会長 主題 Wichian Boonmapajorn (タイ) "Mission with Faith" 「信念のあるミッション」(使命・目標)
アジア地域会長 主題 Edward K.W.ONG (シンガポール) "Through Love,Serve" 「愛をもって奉仕をしよう」
西日本区連事 主題 遠藤 通寛 (大阪泉州) 「あなたならできる!きっとできる!」 "You can do it! Yes, you can!"
九州部部長 主題 五嶋 義行 (阿蘇) 「九州から輝くワイズダム」 "Shine our Wisedom from Kyushu island"

CLUB OFFICE

福岡市城南区七隈1-10-10 092-831-1771

1-10-10, Nanakuma Jyonan-ku, Fukuoka city 814-0133 JAPAN

4月例会報告

壹岐 裕志

4月例会の卓話は、松崎 紋太(真治)さんを迎えて、「博多にわかについて」—博多にわかの歴史・にわかを通して見えてくるものーというテーマで楽しいお話を聞きしました。「博多にわか」の由来は判然としないが、「大阪にわか」に端を発しているようであるという、江戸から戦国時代に遡る歴史的な興味深いお話を「にわか」を通して説明されて、大笑いをしながらも学びの時間を持ちました。また、「にわか」をする際は、言葉を大事にする。人を傷つけない。思いやりをもつ。そしてよく聞くことが大事であるということを独特の博多弁を駆使しながら解説されました。後半は、会場から演題を貰い、即席で素晴らしい「にわか」を披露されました。松崎さんは85歳というご高齢でありながら、博多にわか教室主宰を始め、さまざまなお仕事を持ち、『博多にわか歳時記』など多数の著書もあります。元検察官副検事という固い職業とは想像も尽かない終始笑いに包まれた例会でした。また、この例会では、西日本区リーダー研修会費補助が、草場会長から福岡 YMCA 平岡正春氏（ウェルネス）に贈呈されました。出席者 24名(内ゲスト7名)



西日本リーダー研修会費補助
授与式 (YMCA 平岡職員へ)



坂本さん有紀さんとお子さん



白洋舎和田支店長に
ワイスバッジ贈呈式！

第2例会報告 4月28日

出席者 壱岐 伊藤 岡 草場 草場みちこ 中村 中村順子 堀田

議題

熊本地震

ワイスメンズクラブによる支援活動の現状

福岡中央クラブはファンドから10万円を4/25に送金。

今後の活動…それぞれの持ち場でベストを尽くす。

5月例会で復興支援の募金をする。

5月IBC例会 21日(土)~22日(日)

参加者 9名(トンネ)

志賀島国民休暇村 送迎付

会費 宿泊 約13,300円 日帰り 5,000円

クラブファンドから25万円を支出する。

22日はオープントップバスと観世音寺を主とする。

5月の第2例会を5月12日(木)にすることにした。

ブリテン5月号

聖句と解説 壱岐さん 4月例会報告 壱岐さん

誕生日コメント 壱岐絢子さん5/28 結婚記念日 中村夫妻5/3

6月例会 10日(金) リーダーの日程との調整で金曜日にした。

ボランティアリーダー歓迎例会

ドライバー メネット会 司会 改めて検討

プレゼント ブックカバーをメネット会で手作りする。

ワイスメンズクラブのアピールは会長あいさつの中で行う。

アトラクション リーダー会 博多にわか (案)

その他 西日本区大会でファンド販売を行う

●熊本地震支援報告

このたび4月14日（木）に発生した地震により、熊本県、大分県が甚大な被害を受けました。それは、「熊本地震」と命名され、今でも余震が続いています。平岡・木原両スタッフが視察と支援のため、熊本県益城町へ行ってきました。益城町には熊本YMCAが指定管理として管理している益城町総合体育館があり、そこでの支援となりました。福岡からは2度目となる派遣になりましたが、1度目と比較すると道は通り、物資もある程度届きつつある状態にありました。

まず、熊本中央YMCAで現状について話を伺いました。熊本市内は、大まかなライフラインとして水道・ガス・電気は通ってきている状態ですが、まだまだ届いていない所もあるようです。熊本中央YMCAでは壁のヒビや亀裂がちらほら見えました。そこから約10kmの所に益城町総合体育館があり、車移動の間に徐々に瓦が落ちている民家が出てきます。更に進むと倒壊により車が下敷きになっている民家や、1階部分が潰れ、2階が落ちてきました。益城町に入ると、平屋以外のほとんどの民家が倒壊していました。かろうじて残っている民家も危険の為入ってはいけないと札が貼られ、被害の重さを物語っています。体育館では屋内に600名、駐車場で車の中で非難している方々が600名の合計1,200名の方が避難生活を送っていました。危惧されていました衛生面ですが、未だにペットと同じスペースで寝食を共にしており、改善には時間がかかるかと感じました。ある程度物資が届き、ボランティアが増えたことで、今度は『快適な生活』を求める方が見受けられました。それによるストレスが貯まっているのも現状です。

今回、直接熊本に行ったことで2つの事を強く感じました。1つは『地震の悲惨さ』、2つ目に『人々の強さ』です。支援者は全国での様々な経験により、SNSが主流となって情報の伝達と行動が迅速に行われていました。そして益城町の方々もこのような苦しい状況にあっても部分的に明るく笑顔を見る瞬間もありました。災害を受けていない私たちができることを改めて考えています。一日でも早くもっとたくさんの笑顔が見られるように支援しつづけたいと思います。

福岡YMCA ウエルネス事業部 木原 克明



HAPPY BIRTHDAY OUR FRIENDS!!

壹岐 紗子 IKI, Ayako 5月28日生まれ はっぴーばーすてい あやこさん！

また一つ歳を重ねました。自然体でいたいと思います。



HAPPY ANNIVERSARY!!

中村 次郎・順子 Jiro ♥♥ Junko 5月3日 おめでとうございます！

5月3日は憲法記念日です。次の参議院選は憲法改正を企てられている大切な選挙と云われています。現在の憲法は立憲主義、平和主義に立っている大切な私たちの憲法です。何としてもこれを守り続けたいと思います。私共の結婚生活も現在の憲法を守りたいと思う気持ちと同じ気持ちで大切にていきたいと思います。

◇川上孝司地域奉仕・環境事業主任が現地を訪問しました。

現地レポート

地域奉仕・環境事業主任 川上孝司

4月18日から20日にかけ、熊本地震の視察に行って参りました。岩本次期理事にご案内いただき、YMCA阿蘇野外活動センターを訪問。ここは建物の被害はほとんどなく、YMCAの職員学生ボランティアたちが被災者のための救援活動の準備で慌ただしく打ち合わせ準備を進めていました。そのあと死者49人負傷者1,100人。物的被害として、建物全壊1,553棟 半壊1,460棟等 約5,000棟といった甚大な被害をもたらした今回の震源地である益城町に向かいました。

町の中心街に入ると、ほとんどの家が傾き倒れ、旧家も多いため、屋根の重みで完全倒壊したい家が多く見られました。道路もあらゆる所で隆起し、通行出来ない個所もいくつかありました。ここ益城町に。熊本YMCAが指定管理団体として管理されている大きな体育館やコミュニティホールが配備された益城町公民館があります。この建物が今回の地震における被災された皆さんのがん難場所として活用されています。しかし収容人数に限りがあり、多くの住む家をなくされた方達は、会館の駐車場で車中生活をされています。屋外スペースにはボランティア団体による炊き出しや仮設トイレ、自衛隊による給水活動、仮設入浴施設、日本赤十字による仮設病院などが設けられています。建物の内部に入ると多くの被災者の皆さんでひしめき合ってて紙パネルで仕切られた小さな空間で生活されておられます。現在は熊本YMCAと熊本在住のワイズメンズクラブメンバー、学生やボランティアの皆さん、全国から届いた救援物資の仕分けや分配にまた被災の方の会館内の管理や相談まで昼夜を問わず働いておられます。

先日、九州部による熊本震災支援対策委員会が発足され、活動がスタートしました。今後、遠藤理事の指揮の下、皆様のご協力をお願ひいたします。



◇平成28年熊本地震につきましては、今後も九州部やYMCAなどから寄せられた現地の情報、様子などを随時お届けいたします。



◇次期西日本区理事の岩本悟ワイズより、西日本区に現地の情報を寄せさせていただきました。

熊本地震 被害状況報告

次期西日本区理事 岩本 悟（熊本にし）

2016年4月14日午後9時26分と深夜1時25分、2回に渡り九州中央部にある熊本地方をM7.3震度「7」の巨大地震が発生しました。九州地方の歴史始まって以来の地震と言われています。地震から約2週間が経過しますが、今でも震度2~4クラスの地震が多く、余震回数884回と日本最大級です。この余震の影響で不安な生活を余儀なくされています。

人的被害も、死者49人を筆頭に死傷者1,100人となっています。

物的被害として、建物全壊1,553棟 半壊1,460棟等 約5,000棟、宇土市役所をはじめ公共施設も69棟が全・半壊状態となっています。

お蔭様で、ワイズメン、YMCAスタッフ&関係者に人的被害はなかったものの、物的被害は、大小合わせてかなりの被害をこうむりました。

また熊本YMCAの建物、施設は全・半壊は無かつたものの、柱、壁のヒビ、剥がれ落ち、天井板の落下等 被害が大きく営業復帰にかなりの日数を要します。

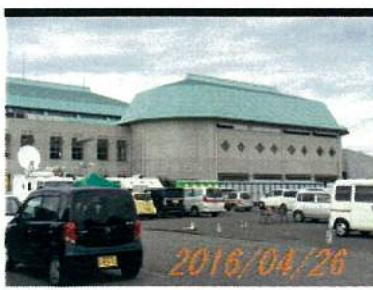
熊本YMCAは、公共の体育館や運動施設の指定管理社として3つを運営していますが、その内 益城町（避難民1,200名 車中泊600名 計約1,800人）御船町（避難民 約200人）の施設が被害が大きい中にも避難所として指定されていますので、ワイズメンもYMCAと共に被災者 避難民の支援に多くのワイズメンが大きく関わっております。以下 写真と共に。



4月14日の震源地
益城町の施設
ここに車中泊も含めて、
約1800名が避難されています。



地盤沈下が 約30cm



建物外観



事務所での管理ボード



天井板が剥離して落下



剥離した天井板

この残骸片付けと、天井修理が完了したら、約2,000名規模の避難所となり、益城町からYMCAが依頼を受けて、新たに被災者支援活動が開始される予定です。ワイズメンとしては、熊本YMCA副会長であり次期九州部部長の宮崎隆二メンが、地震発生当初から日夜全面的に支援されています。



避難所風景



西原村の倒壊現場風景



益城町の倒壊現場風景



熊本のワイズメンとして、大きな支援の柱は、

- 1) 避難所・被災者支援：益城町総合体育馆・御船スポーツセンター・阿蘇地域が中心
- 2) 熊本YMCA支援：資金的&人的に
- 3) 体・心のケアを目的にメディカルケア：東京のNGO医師団と連携して
- 4) 被災したワイズメンの支援

いずれにしましても5年位の長期戦が予想されますので、ワイズメンとしましてもその支援体制作りをしていく予定です。皆様の暖かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2016年4月27日現在



主題「あなたならできる、きっとできる」
"You can do it! Yes, you can!"
生きる しなやかに さわやかに
Live flexibly and refreshingly

此の度の、熊本における度重なる地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますと共に一日でも早い復旧をお祈り申し上げます。

日々の報道ではかなりの速度で復旧作業が進んでいるようです。在来線、新幹線、そして本日 29 日には高速道路が復旧されたようです。熊本在住のワイズの皆様は被災されているにもかかわらず、ご自分のことはさておき熊本 YMCA と共にそれぞれの能力を発揮され、昼夜を問わずお働きをされておられるようです。本当に頭が下がります。西日本区地域奉仕・環境事業主任の川上孝司氏が 4 月 26 日 27 日に阿蘇市、熊本市に入りました。理事通信 5 月号にて報告いただきます。

さて、先に各クラブ会長の皆様にはご案内させていただきましたが、改めてご報告申し上げます。西日本区といたしましては、被災された各ワイズを支援するため、緊急支援として地域奉仕・環境事業資金より 300 万円の拠出を、同事業委員会にお諮りいただき、常任役員会の決議をもって承認をいただきました。また 4 月 16 日に行われました東西理事連絡会議にて、東日本区からもご支援の申し出が御座いました。これらの支援金の使途については、五嶋義行九州部長にお任せをいたしましたが、五嶋義行九州部長のお住まいの阿蘇市は報道の通り送電線が崩壊し、停電状態であり、また道路も寸断され阿蘇市以外には移動が出来ない状況にあるそうです（五嶋部長談）。よって、次期理事事務局長の水元裕二様にて管理いただくこととなりました。

今後、西日本区といたしましては、被災されたワ
イズを支援するための募金を、各クラブの皆様にお
願いいたします。熊本地区はYMCAと一緒に活動
されています。そのワイズを応援しましょう。今
後、更なるYMCAの力となり、被災地の地域奉仕の
ためのお働きをされることでしょう。

振込は別紙見本をご参照ください。西日本区の各種献金振込用紙が無い場合は、郵便局にあります払込取扱票にてお振込みをお願いいたします。個人でご支援いただく場合でも、クラブ名と平成28年熊本地震をお書き添えください。

2015~2016 西日本区理事 遠藤 通寛

また、日本YMCA同盟島田総主事との打ち合わせの中で、支援物資が現地のYMCAに届きますと、仕分け作業に追われ、職員が大変な状況になるとのことです。YMCAからの依頼されたものをご支援いただきますようにお願いいたします。ゆうパック・宅配便等が回復してまいりました。被災地の各ワизаторへのご支援物資は、保管スペース等をお持ちのワизатор宅にお願い申し上げます。余震が続き片付けもままならない状況でございますので皆様のご配慮をお願い申し上げます。

本日現在、熊本地区のワイズの皆様からは、お怪我をされたような情報は御座いません。皆様のご支援宜しくお願い申し上げます。

上記のようにご案内させていただきましたが、現在阿蘇市は送電が再開されております。熊本YMCAのホームページ上にはフェイスブックにて現在の取組、必要なものについてタイムリーに発信されています。報道では南阿蘇地域が中心に取り上げられておりますが、阿蘇のYMCAの施設がある阿蘇市内も大変な状況でございます。

各 YMCA を通じて街頭募金、募金活動をされている皆様、有難うございます。今後、阪神淡路大震災、東日本大震災でも一番弱い方々が最後まで残されます。YMCA と共に継続した心のケアにお手伝いしたいものです。最後に皆様のお働きに感謝申し上げます。